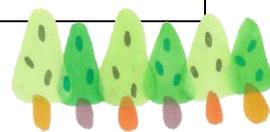


二中の本だな



5月になり、新緑の鮮やかな季節となりました。1年生のオリエンテーションも終わり、ちらほら通ってくる1年生の姿が見られるようになりました。2、3年生は本を借りるだけでなく、本を読む人、友だちと過ごす人、放課後勉強をする人などさまざまです。ホッと一息ついて、安心して本を手にとれる二中図書館になるといいかと願っています。今年度は、3年生のみなさんにも新しいカードを配布することになりました。カードを無くしてそのままになっていた人、図書館から足が遠のいていたという人の利用もお待ちしています。

二中図書館には、約13,500冊の図書があります。毎月「としょかん通信」が届き、教材室前の廊下に掲示しています。また、小学生新聞1紙・中高生新聞2紙が届き、職員室前の渡り廊下に置いてあります。自分で情報を取捨選択する時代を生きるみなさんに積極的に活用してもらいたいです。

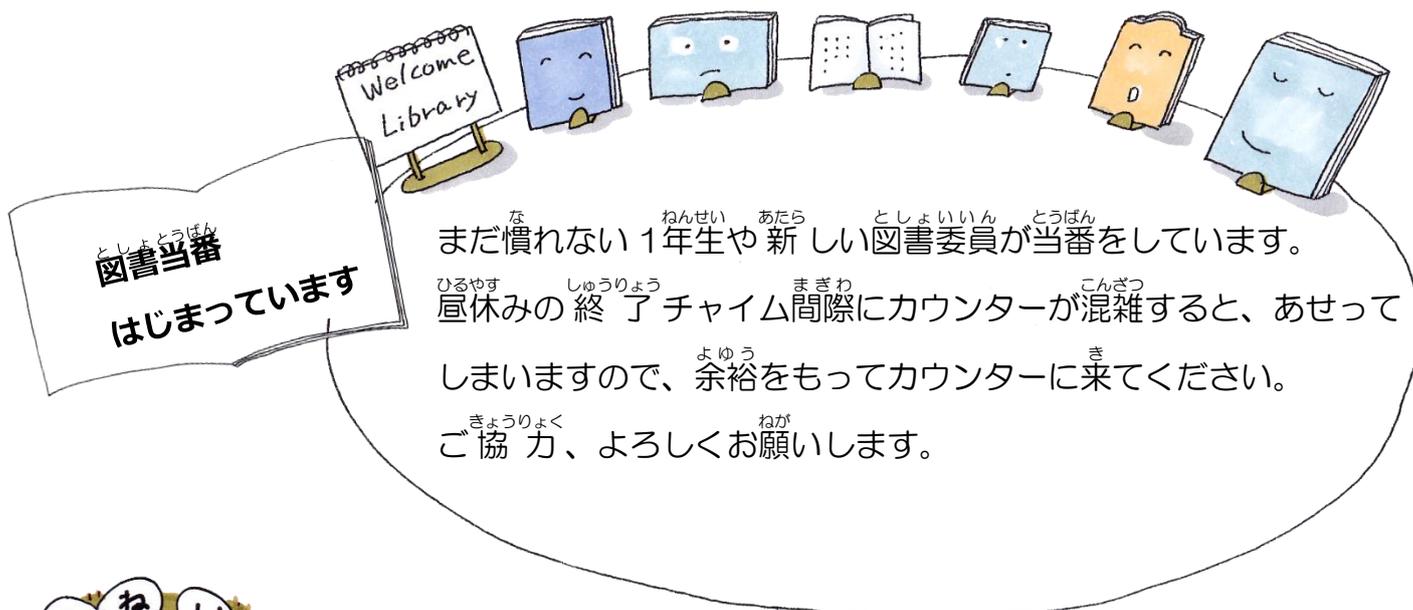


4F 教材室前



2F 職員室前 渡り廊下

新学期が始まってもうすぐ1か月がたちます。疲れもでてくる頃ではないでしょうか。連休はのんびりと読書で頭をリフレッシュさせませんか。



今年度も感染症対策と本を汚さないために、図書館利用の前に手洗いをお願いします。



ロシアによるウクライナへの侵攻がいまだに終わりが見えない中、わたしたちは何ができるでしょう。だれも正解は分からないと思います。分からないから、知ること・考えることから始めませんか。



〔内容〕第二次世界大戦時に起きた独ソ戦、主人公セラフィマが住んでいる小さな村がドイツ兵に襲撃され、目の前で母親が殺される。セラフィマは、助けにきたソ連の狙撃兵イリーナの態度にも怒りを覚える。ドイツ兵とイリーナへの復讐を胸に自らも狙撃兵として戦場に向かっていく。2022年本屋大賞受賞。

〔感想〕突如戦争の波に飲み込まれたセラフィマが、「何のために戦うのか」と自分に問い続けます。その問いが彼女を戦後も支えます。戦争さえなければ起こらなかった悲劇が多く、読後にしばらくやりきれない思いにはなりますが、戦争のすがたを浮き彫りにした作品です。

『同志少女よ、敵を撃て』

逢坂冬馬 / 早川書房 / 913 ア

『本のタイトル』

著者名 / 出版社 / 請求記号

本を探するときの参考にしてください。

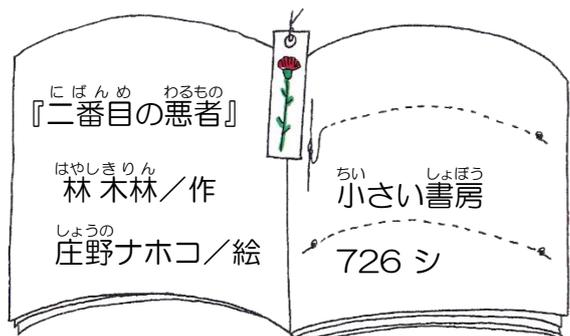
〔内容〕スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ原著の同じタイトルの作品をコミカライズ。独ソ戦のソ連の前線には女性たちがいた。当時の女性たちの実情を描いています。3巻まで出版されていますが、二中図書館には2巻まであります。

〔感想〕漫画ですが、1ページ1ページ歴史的背景を踏まえながら読んでではじめて合点がいきます。『同志少女よ、敵を撃て』の読後におすすめします。



『戦争は女の顔をしていない 1』

小梅けいと / KADOKAWA / 726 コ



※ この本は書影の掲載ができませんでした。

〔内容〕金色のたてがみを持つ釜のライオンは、美しい自分こそが次の主にならなうと思っていた。ところが、ほかの動物たちの「優しい銀のライオンこそ次の主にならなう」という話を耳にして、ある行動を起こしました。絵本のように読みやすいです。

〔感想〕悲しいですが、まさに今の社会で起きていることだと感じました。正しい情報を見極める力をつけていきたいですね。